

# 付着生物ラーバ情報

## 小型のアカザラーバが増加

### 1 ラーバの出現状況

ラーバの調査地点は図1、出現数は表1、2、出現数の推移は図2、3のとおりです。

#### (1) アカザラ

ラーバは西湾平均で151個体/m<sup>3</sup>と昨年同時期148個体/m<sup>3</sup>とほぼ同じく、東湾平均で406個体/m<sup>3</sup>と昨年同時期123個体/m<sup>3</sup>よりかなり多い状況です。180μm以上のラーバ出現割合は西湾で23.0%、東湾で3.7%でした(表1、図2)。

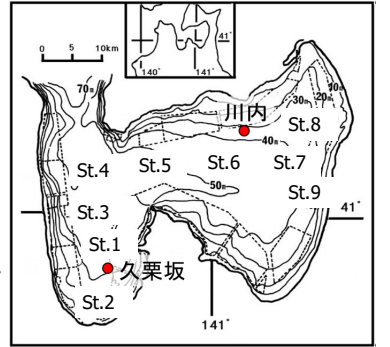


図1 アカザラーバ(St.1~9)とその他付着生物ラーバ(久栗坂・川内)の調査地点

#### (2) ユウレイボヤ

ラーバは見られていません(表2、図3)。

#### (3) サンカクフジツボ

ラーバは見られていません(表2)。

表1 アカザラーバの出現状況(7月9日)

	全出現個数	180μm未満		180μm以上	
		個数	割合	個数	割合
西湾平均	151	116	77.0%	35	23.0%
東湾平均	406	391	96.3%	15	3.7%
全湾平均	293	269	91.8%	24	8.2%

単位:個体/m<sup>3</sup>

### 2 今後の見込み

#### (1) アカザラ

ラーバは殻長190μm前後で付着します。**付着サイズのラーバが継続して見られている**ので付着が進んでいると思われます。さらに**小型ラーバの出現数が増加**していることから、成長に伴って**付着が増加する見込み**です。

#### (2) ユウレイボヤ

現在、陸奥湾内の中層の水温は20℃前後に昇温しているので、**今春のラーバの出現は終了**しましたが、今秋、**水温が20℃を下回ると再びラーバが出現する**ものと思われる。

#### (3) サンカクフジツボ

付着直前のラーバは8月に出現する見込みです。

表2 その他ラーバの出現状況 単位:個体/m<sup>3</sup>

調査地点	調査月日	ユウレイボヤ	ザラホヤ	ムラサキイガイ	サンカクフジツボ
久栗坂沖	R6.6.20	0.0	0.0	1.1	0.0
川内沖	R6.6.20	0.0	0.0	132.8	0.0

※久栗坂沖、川内沖は実験漁場内

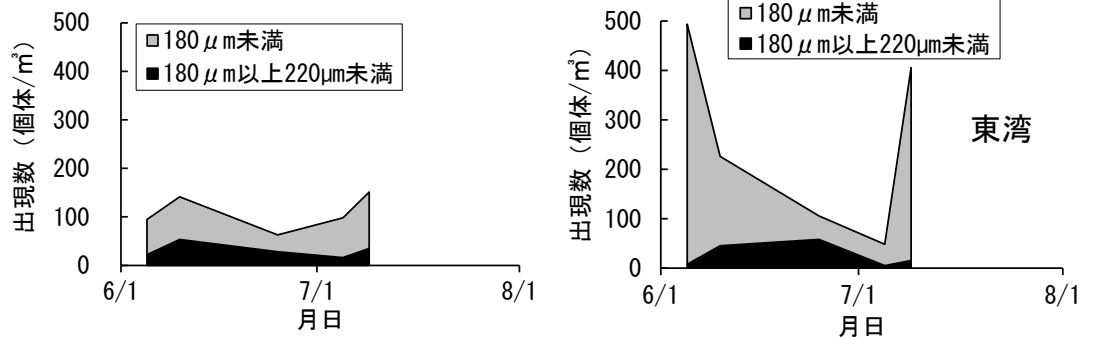


図2 西湾(St.1~4)、東湾(St.5~9)におけるアカザラーバ出現数の推移(令和6年6~7月)

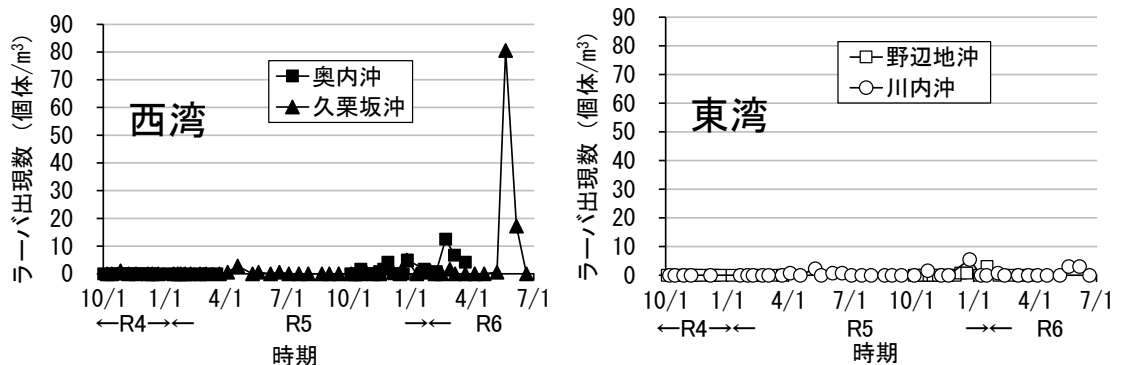


図3 ユウレイボヤラーバ出現数の推移(令和4年10月~令和6年7月)

・平成25年の観察開始から現在までの最大値:西湾 80.6個体/m<sup>3</sup>、東湾 10個体/m<sup>3</sup>

